

## ■田久保裕一／指揮

東京音楽大学音楽科卒業、指揮を伊藤克一、林有誠、伊藤安彦、秋山和慶の各氏に師事。

千葉県富津市にて10年間の小学校の音楽教師を経てプロの指揮者に転向。1992年～1993年、スイス・ルガノにおいて、リヒャルト・シュトラウスマッサー、ワーグナーにてカール・エスターライヒャー、演出演出、およびハンス・クラウプの各氏に師事。

1994年11月、ルーマニア・ブジョヴナ市で実施された第4回「フィス・ニクレスタ」国際指揮者コンクールにてグランプリ、審査員特別賞、聴衆特別賞を受賞。これまでに国内のオーケストラはもとより、スロヴァキア、ルーマニア、カザフスタン、韓国、中国などで指揮し好評を得る。

中国内閣古文書楽団名誉首席指揮者 日本指揮者協会会員 東京指揮研究会代表

## ■小澤麻里／ヴァイオリン

東京音楽大学ヴァイオリン専攻3年生。

小学4年生から伊豆フィル団員として活動。

神奈川県小田原市在住。



### ●小澤麻里さんのこと—コンサート 小澤麻里

小澤麻里さんは、とにかく面白い人です！可愛らしい見た目ですがその容姿からは想像も出来ないほど「天才」な演奏が、彼女の最大の持ち味です。今回彼女が演奏するツィゴイネルワイゼンには、数あるヴァイオリン小品の中でも、とても有名で且つ技巧的に非常に難しい曲と書かれています。ですが、当日は彼女の魅力溢れるフレッシュな演奏が、お楽しみいただけることでしょう。これから更なる素晴らしいヴァイオリニストの誕生を、応援してください。

## ■伊豆フィルハーモニー管弦楽団

平成5年に発声を受けた伊豆フィルは、今年で10年目を迎えたオーケストラです。

活動は定期演奏会を中心に、わくわくコンサート（アンサンブル中心のミニコンサート）元音ファンティアコンサート（学校訪問演奏・会）などがあります。

団員は現在約100名、年齢も職業も年齢層も様々ですが、「音楽が大好き！」という共通の心も、保内麻枝、山梨、東京、神奈川県など広範囲から集まり和気あいあいの練習に励んでいます。

練習会場は伊東市南小学校内です。



## ■団員Nのちょっと長〜いつぶやき〜

トランペットおじさんのNです。今回のファミリーコンサートは「練習法作曲」で開幕だ、おいらの地味ファンファーレと軽快な演奏の行進を合わせリズムでおなじみだが、無いを差し替えるような本音や管楽器の鳴らないメロディーも聞き逃さずだ。2曲目はチャイコフスキーのバレエ音楽「白鳥の湖」より情景。

まるで白鳥が湖面を滑っているような情景を演奏するのはオーボエだ。夜交ながらおいらの楽器はこういう場合は不向きかな、オーボエもあーばねておいてくれ！

次は運動会でよくかかるトランペット吹きの日だ、有名なアンダーグランドの曲を3曲、音楽家や楽しいタイプライター、時計（ウッドブロックで演奏）が大活躍なのでトランペット吹きはほとんど休んだ。タイプライターってわかるかな？

そして子供達はいいよお持ちかね、（オーケストラストーリーズ と名付のトト）だ。音楽だけでなく語りが入るから、物語をわかりやすく思い出しながら聞くことができる。後半はヴァイオリンのソロ曲として有名な「ツィゴイネルワイゼン」からスタート。10歳の時にヴァイオリンの名師ストラディバリウスをもらったほどの名手であるサラサーテは、自分でもヴァイオリンのためにエキゾチックかつ興しめやすいメロディの小品を作曲、又2曲

次はブラームスの「ハイデルンの主題による変奏曲」ブラームスなのにハイデンってどういうことかな？と思うかな？でもクラシック音楽界にはよくあることなんだな。17才のハイデルンの主題による変奏曲」とか「祝祭の輪」などもそうだ。3曲に入った音楽を後の作曲家が編曲するパターン、今回は即曲となったハイデルンの本管五重奏「デベルヴェメント」も演奏し、その変奏ぶり7をよりわかりやすく楽しんでもらおうと思うけれど。

そして最後はデブニー映画「ファンタジア」で使われた「魔法使いの弟子」。魔法使いの弟子が魔法の習得中だった、ずら〜と、先取りしたり聞かれたり、とうとうクマになってしまふというお話し、おもしろ〜じゃなくて、楽しかったら「アンコール」っておれずにおんではいいな。

